

京都大学大学院薬学研究科の組織に関する規程新旧対照表

改正前	改正後
<p>(前 略)</p> <p>(専攻及び講座)</p> <p>第5条 薬学研究科の専攻及び講座は、次に掲げるとおりとする。</p> <p>創薬科学専攻 薬品創製化学講座、薬品機能統御学講座、薬品製剤設計学講座</p> <p>生命薬科学専攻 生体分子薬学講座、生体機能薬学講座、生体情報薬学講座</p> <p>医療薬科学専攻 薬品動態医療薬学講座、病態機能解析学講座</p> <p>2 前項に掲げるもののほか、薬学研究科又は専攻に協力講座を置くことができる。</p> <p>3 協力講座に関し必要な事項は、教授会の議を経て研究科長が定める。</p> <p>(専攻長)</p> <p>第6条 (略)</p> <p>(薬用植物園)</p> <p>第7条 薬学研究科に、附属の教育研究施設として、薬用植物園を置く。</p> <p>2 薬用植物園に長を置き、薬学研究科の専任の教授又は助教授をもって充てる。</p> <p>3 薬用植物園長の任期は、2年とし、再任を妨げない。</p> <p>4 薬用植物園長は、薬用植物園の業務をつかさどる。</p> <p>(後 略)</p>	<p>(専攻及び講座)</p> <p>第5条 薬学研究科の専攻及び講座は、次に掲げるとおりとする。</p> <p>創薬科学専攻 薬品創製化学講座、薬品機能統御学講座、薬品製剤設計学講座</p> <p>生命薬科学専攻 生体分子薬学講座、生体機能薬学講座、生体情報薬学講座</p> <p>医療薬科学専攻 薬品動態医療薬学講座、病態機能解析学講座</p> <p><u>医薬創成情報科学専攻 医薬創成情報科学講座</u></p> <p>2 } (同 左)</p> <p>3 }</p> <p>(薬用植物園)</p> <p>第7条 薬学研究科に、附属の教育研究施設として、薬用植物園を置く。</p> <p>2 薬用植物園に長を置き、薬学研究科の専任の教授又は<u>准教授</u>をもって充てる。</p> <p>3 } (同 左)</p> <p>4 }</p> <p>附 則</p> <p>この規程は、平成19年4月1日から施行する。</p>